



MURAKAZA NEZA MU RWANDA

Vol.1

(Welcome to Rwanda)

JICA海外協力隊（2022年度1次隊）
ルワンダ共和国 シンゴマ郡 ムラマセクター配属
コミュニティ開発 水の防衛隊
五十嵐貴昭

目次



※通勤路

- 1 自己紹介
- 2 ルワンダ共和国について
- 3 配属先について
- 4 水の防衛隊って何？
- 5 苦難と葛藤から始まった赴任後の1カ月
- 6 さいごに

1. 自己紹介

鶴岡市の皆様、初めまして。山形県鶴岡市茅原町出身の五十嵐貴昭と申します。JICA海外協力隊として派遣される前は、茨城県にて赤十字職員として従事していました。2022年8月5日から、アフリカ大陸のルワンダ共和国にて、JICA海外協力隊（水の防衛隊）として派遣され、2年間活動する予定です。

この度は、鶴岡市役所様にご協力いただき、このような形で私の活動を報告できることを大変嬉しく思います。ルワンダの状況や活動の様子等少しでも皆様楽しんでいただけたら幸いです。



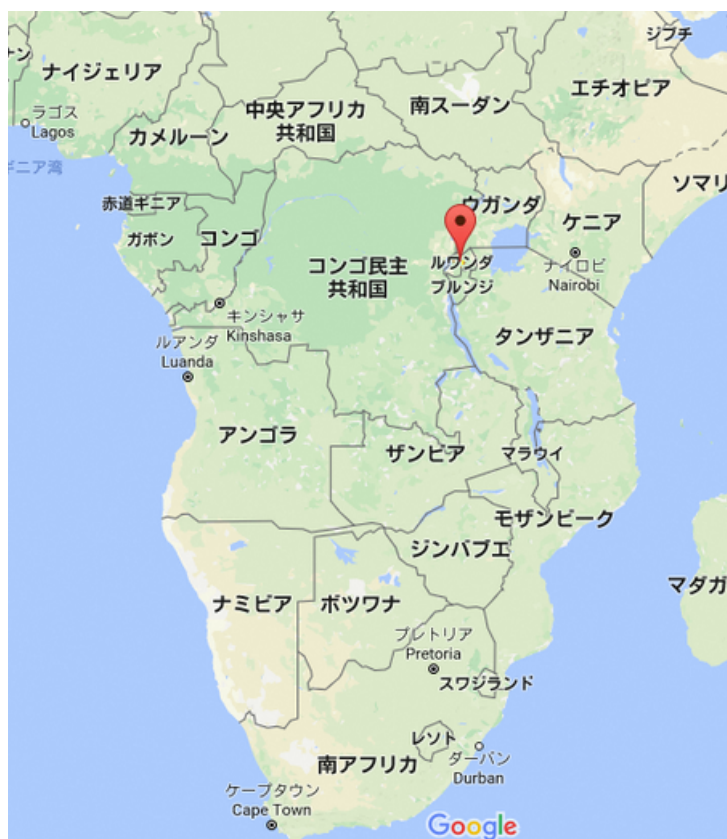
2. ルワンダ共和国について

ルワンダ共和国は、アフリカ大陸の中心より東側に位置している小さな国です。赤道直下の国ですが、標高が高いため年間を通して平均気温も穏やかなので、日本より比較的過ごしやすいです。

ルワンダ基本情報 (参照:外務省HP)

- 人口：1260万人(2019年)
- 面積：約26,000km² (四国の約1.5倍)
- 平均気温:22度
- 首都：キガリ
- 言語：キニアルワンダ語、英語、フランス語、スワヒリ語
- 宗教：キリスト教、イスラム教

ルワンダは「アフリカのシンガポール」と呼ばれるほど、急速に発展・近代化が進んでいます。具体例としては、ドローンを使って輸血用の血液製剤を運送しています。3時間を要する医療機関の車両運送に対して、ドローンでは20分で輸送が可能だそうです。



※ルワンダの位置

3. 私の配属先について

私の配属先は、首都のキガリから車で約3時間離れた、丘の上に位置する東部県ンゴマ郡ムラマセクター事務所です。「セクター」は、日本での「市」に当たるので、市役所に配属していると考えていただくとわかりやすいかと思います。

ムラマセクター基本情報

(参考:ムラマセクター事務所スタッフより)

- 人口：約28,500人
- 面積：約51.8km²
- 構成：5つのセル(町)、44の村



※ムラマセクター事務所

4. 水の防衛隊って何？

「水の防衛隊」と名前だけを聞くと、活動内容に関して想像がつかない方が多いかと思います。JICA海外協力隊の水の防衛隊は、「アフリカの水や衛生の問題の改善を草の根レベルからサポートする」目的で、派遣されています。

- ・住民の水へのアクセスを改善 (井戸修理の啓発・井戸等の給水施設の持続的な利用を可能にするためのサポート等)
 - ・各村の水委員会 (井戸、公共水栓の管理を行うグループ) の運営強化
 - ・手洗い等の衛生に関する啓発活動
- 等派遣された地域の課題によって、活動内容は多岐にわたります。

5. 苦難と葛藤から始まった赴任後の1カ月

任地のムラマセクターに2022/9/8から赴任し、約1カ月が経ちました。今では活動内容も明確に決まり、毎日忙しく過ごせていますが、赴任当初は上手く活動を進めることができませんでした。一例を挙げると、各セクター事務所には本来土地担当者（水に関する業務に従事）が在籍しているのですが、ムラマセクター事務所は赴任当初から今現在まで、土地担当者が不在です。よって、事務所に配属してからしばらくの間、水に関する情報を得る手段が無く「活動をしたくてもできない」もどかしさがありました。しかし、ルワンダで現在活動中の水の防衛隊の先輩方に、情報取得の方法、ポンプ修理の見学、ポンプ調査の同行等、アドバイス・サポートをしていただいたことで、ムラマセクターに設置されている井戸計18基の井戸調査を一人で実施できるようになりました。調査をした結果、2019年までは正常に動いている井戸が計12基だったのに対して、使用可能な井戸が今ではたったの5基。このことから、井戸修理、井戸が破損した際の報告手段の普及、ムラマセクター内の水委員会の運営強化等様々な課題が見つかりましたので、これらを一つずつ改善していきたいと思っています。



※ハンドポンプを解体し、故障の原因を突き止めます。



※村長と連絡先を交換中。

（修理の意思決定をするにあたり、村長の意思も重要なので、連絡先を交換しておきます。）

6. さいごに

最後まで読んでいただき誠にありがとうございます！このような形で、活動期間の約2年間、定期的に発信させていただこうと思います。次号からは、思い通りに活動できずもがいている記事も多くなると思いますが、その紆余曲折感も含めて楽しんでいただけたらと思います。また、水の防衛隊の活動以外にも、ルワンダの文化やプライベートの様子も発信していきます！

それではまた次号でお会いしましょう！

Nahubutaha! (See you next time!)